



西田春彦

英訳普話

猿知人

英訳昔話

「猿聲入り」

絵・訳：茜町春彦

原作：柳田国男

概要：昔話を絵本にしました。原作は日本の昔話（新潮文庫）の中の1編です。英語に翻訳しております。

A Japanese folk tale

Title: "A Monkey Bridegroom"

Illustrated and translated by: Akanemachi Haruhiko.

Original author: Yanagida Kunio



Long long ago, a Man was working in a field of a hill alone.

昔々、或る村の爺が独りで山畑に出て働いていました。



The field was very large.

So, he was laboring with difficulties.

畑が広くて余りにも骨が折れるので . . .



"Ah! I wish that someone helped me! Even if he is a monkey, I will marry off one of my three daughters," he said.

ああああ猿でも好いから来て助けてくれるなら、3人ある娘のひとは嫁にやるがなあ、と言いました。



Then, a Monkey appeared unexpectedly.

そうすると猿が1匹ひょっこり出て来まして・・・



And, the Monkey helped him with the field work diligently.

・・・せっせと畑仕事を手伝ってくれました。



The Man thought, "Oh, dear! I've made a rash promise."

こいつは困った約束をしたわい、と思って・・・



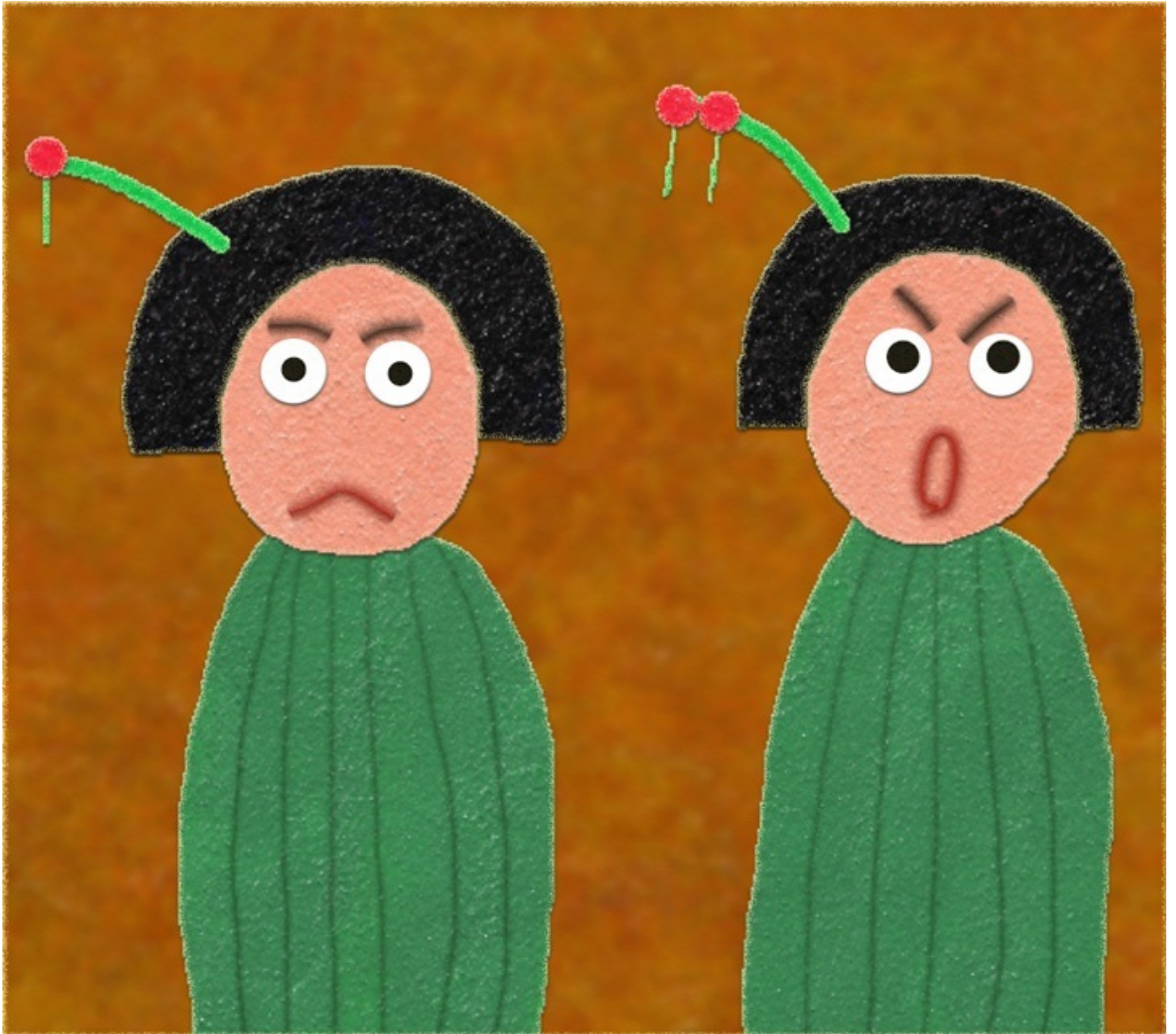
He came back to home.

・・・家に帰って来て・・・



And, he talked with his three daughters.

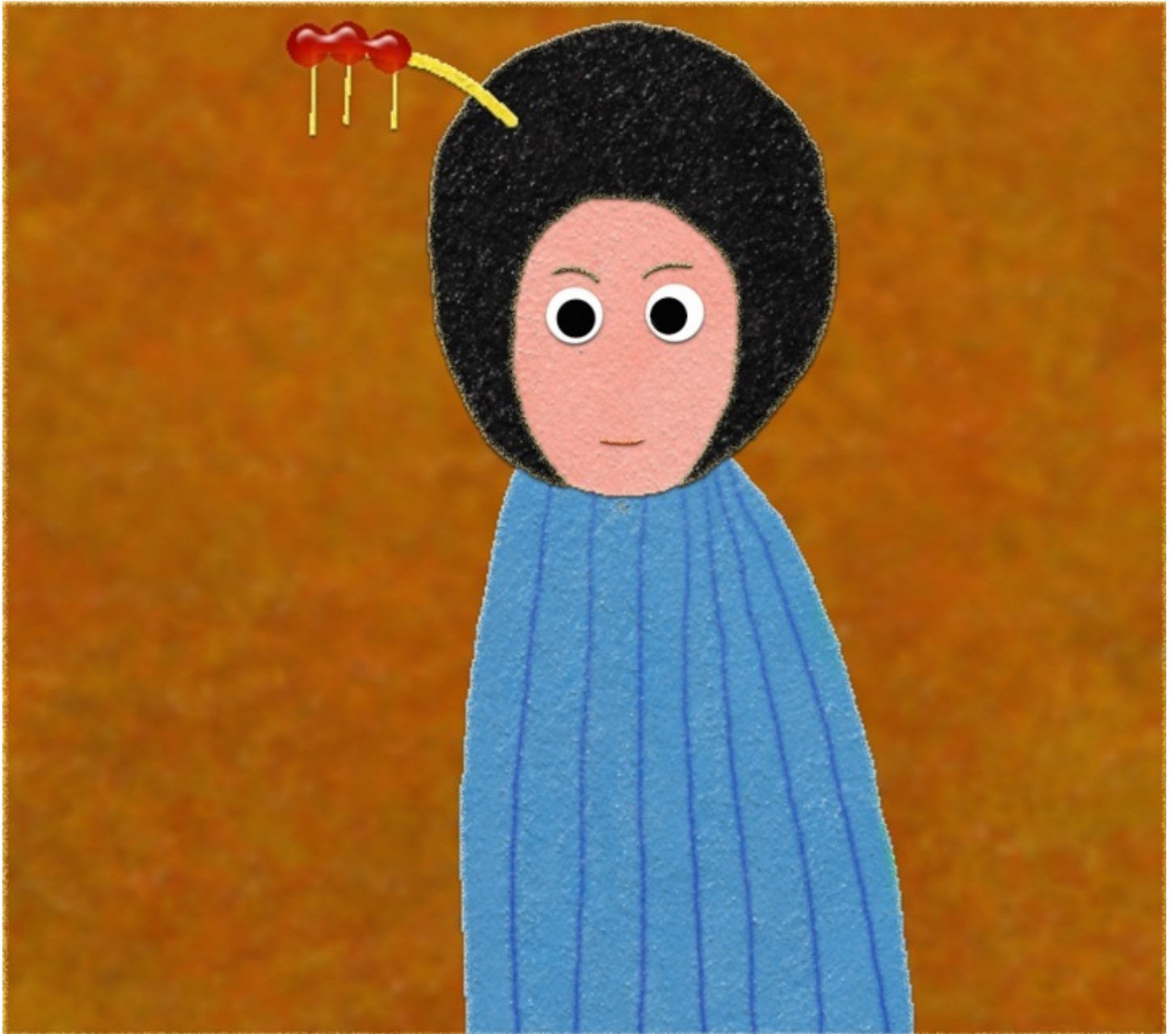
・・・3人の娘と相談をすると・・・



Each of the older daughters said, "I can't marry a monkey."

And, they got angry.

・ ・ ・ 姉も2番目の娘も、猿のお嫁には行かれませんが、と言って怒りました。



Only the youngest daughter was obedient.

"Because Father made the promise, we can't break it. I will marry him. I want a pot for my trousseau. And, please put a lot of needles in the pot!" she said.

末の娘だけが優しい女で、お父さんが約束をなさったのなら是非が無いから私が行きましょう。嫁入りの支度には甕をひとつ。その中へ縫い針を沢山に入れて下さい、と言いました。



The next morning, the Monkey in full dress of bridegroom came to meet the promised bride.

そうすると次の日の朝は、猿がチャント嬢様の着物を着て約束の花嫁を迎えに来ました。



The bride's things were a pot and needles.

嫁の荷物はカメと縫い針・・・



The Monkey carried them on his back.

これを猿が背中に負うて・・・



The two were friendly chatting together.

And, they went to the mountain that the Monkey lived in.

・・・仲良く話をしながら猿の住む山へ行きました。



A deep stream ran at the foot of the mountain.

山の麓には深い谷川が流れていて・・・



There was a narrow log bridge over the stream.

・・・細い一本橋が架かっていました。

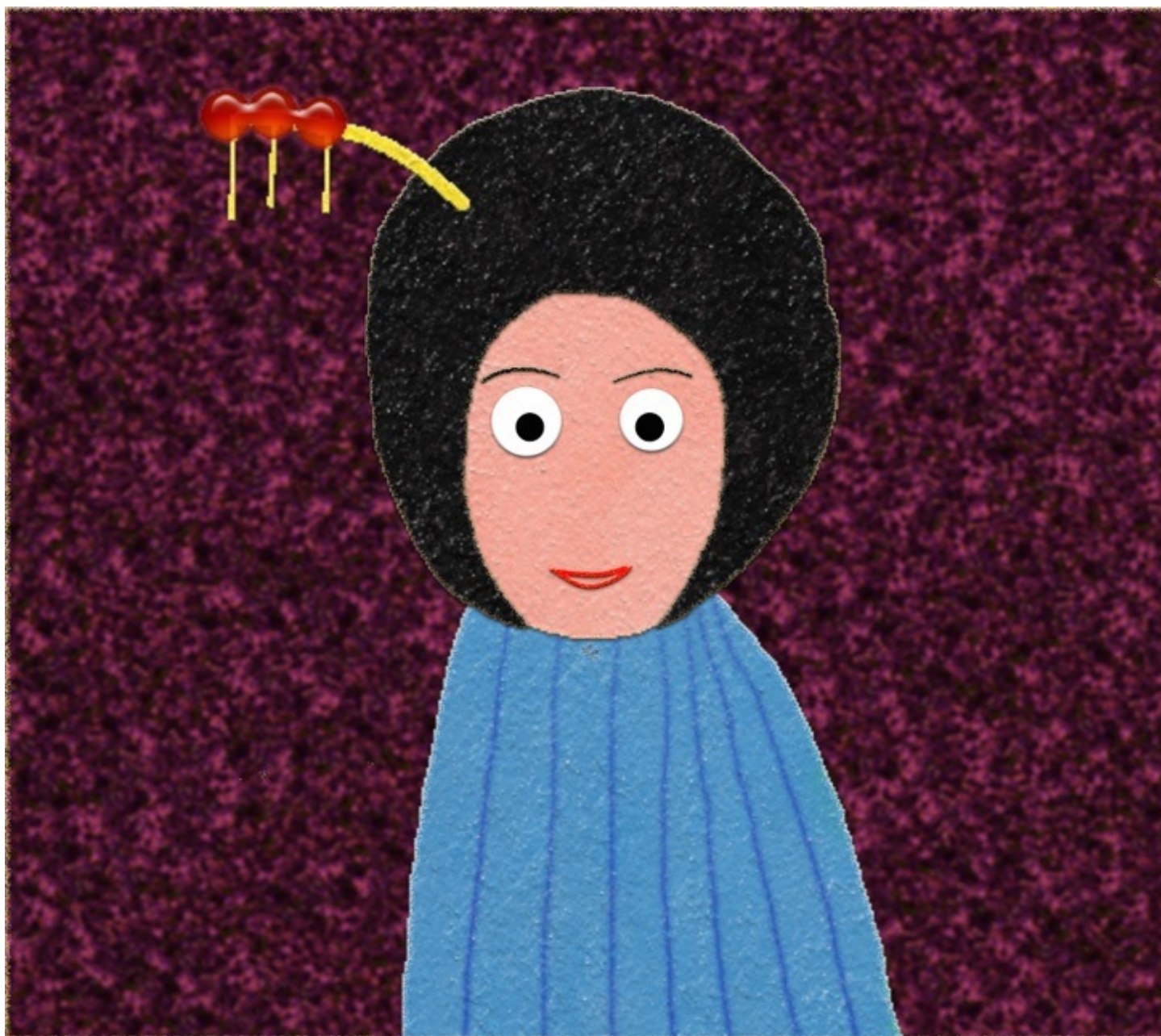


When they started to walk across the bridge, the Monkey talked to her.

If we have a baby boy, what will we call him?

その橋を渡ろうとする時に猿のムコ様が話しかけました。

男の子が生まれたなら、何と云う名を付けよう。



She answered to him.

Because of a son of my dear Monkey, we will call him Stream-Monkey.

猿どのの子だから、猿沢と付けましょう。



If we have a baby girl, what will we call her?

女の子が出来たら、何と付けよう。



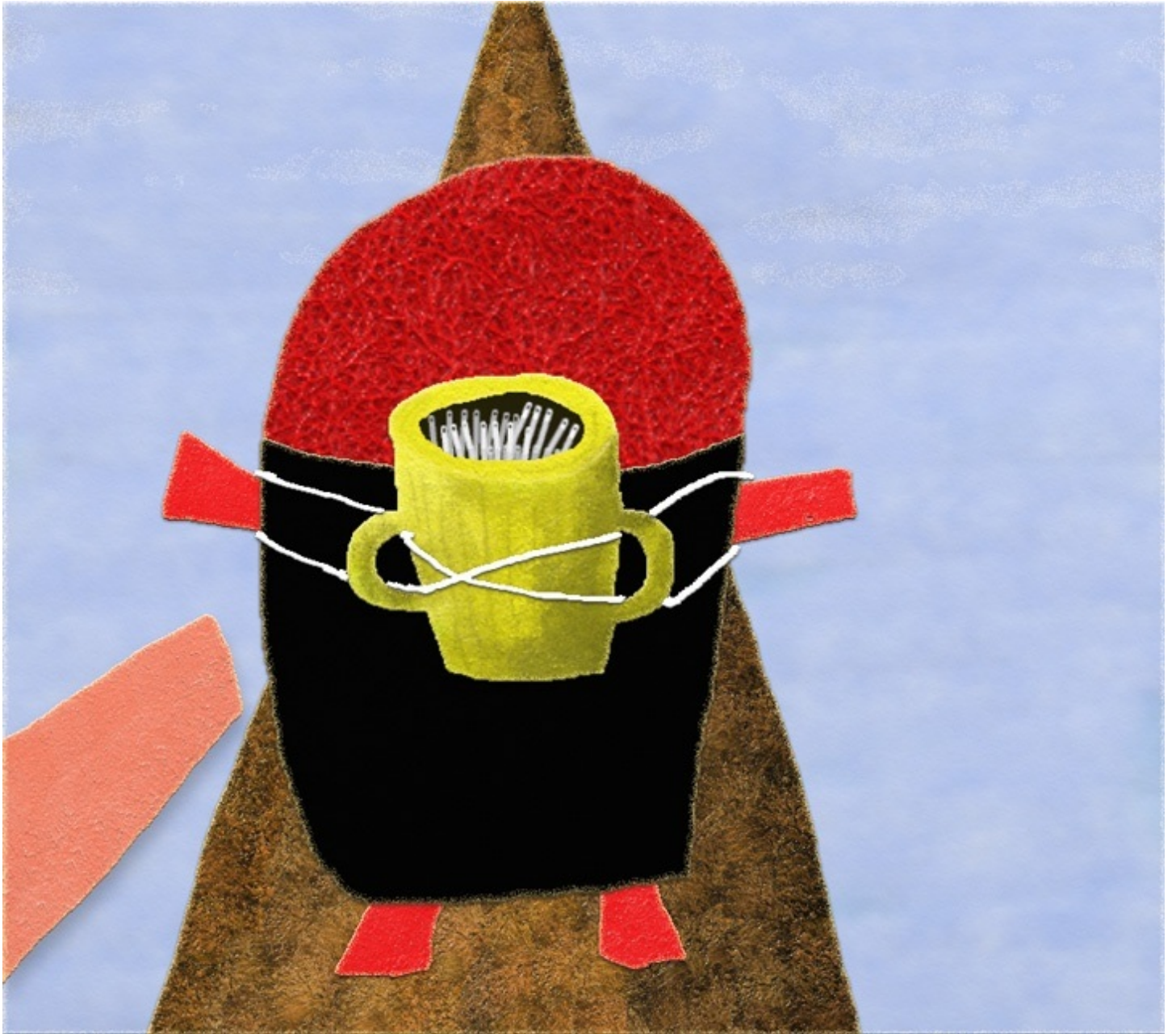
Because the wisteria is flowering beautifully in this ravine, we will call her Wisteria.

この谷には藤の花がきれいだから、お藤と付けましょう。



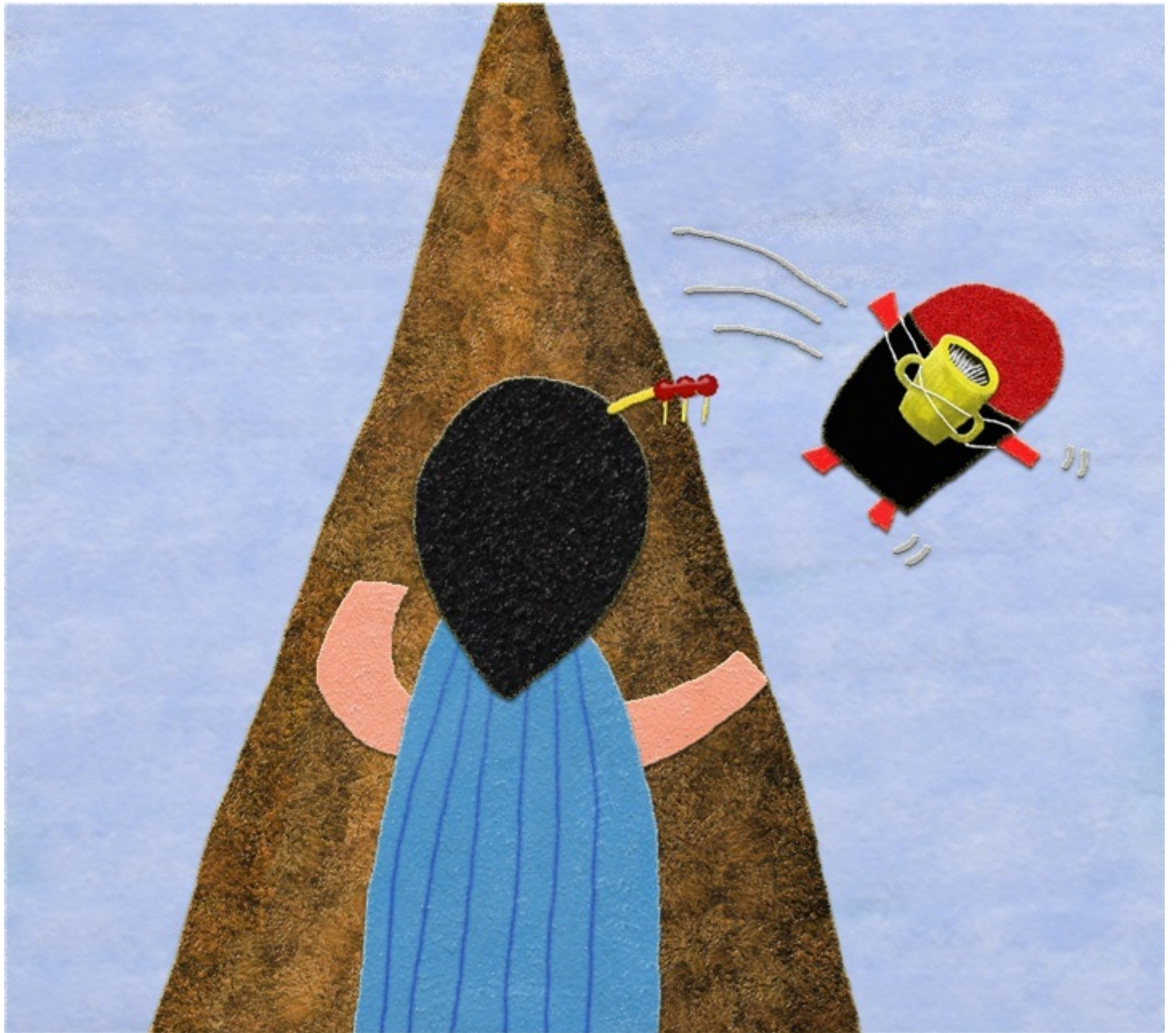
Saying so, they were crossing the bridge over the stream.

そう言って渡って行くうちに・・・



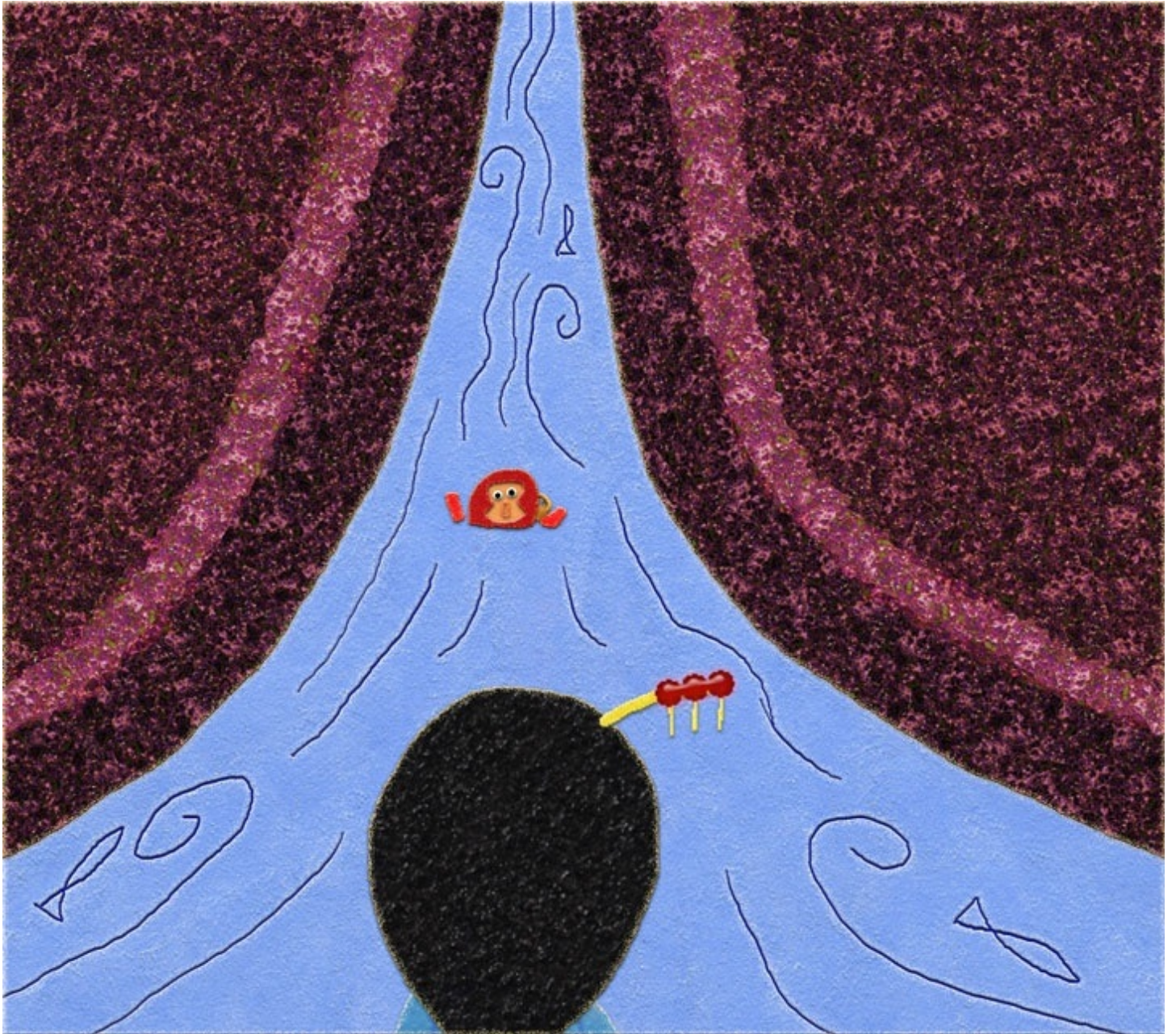
Her hand touched him slightly on the narrow log bridge.

・・・一本橋が細いので、ちょっと手が触ると・・・



Then, the Monkey fell into the stream.

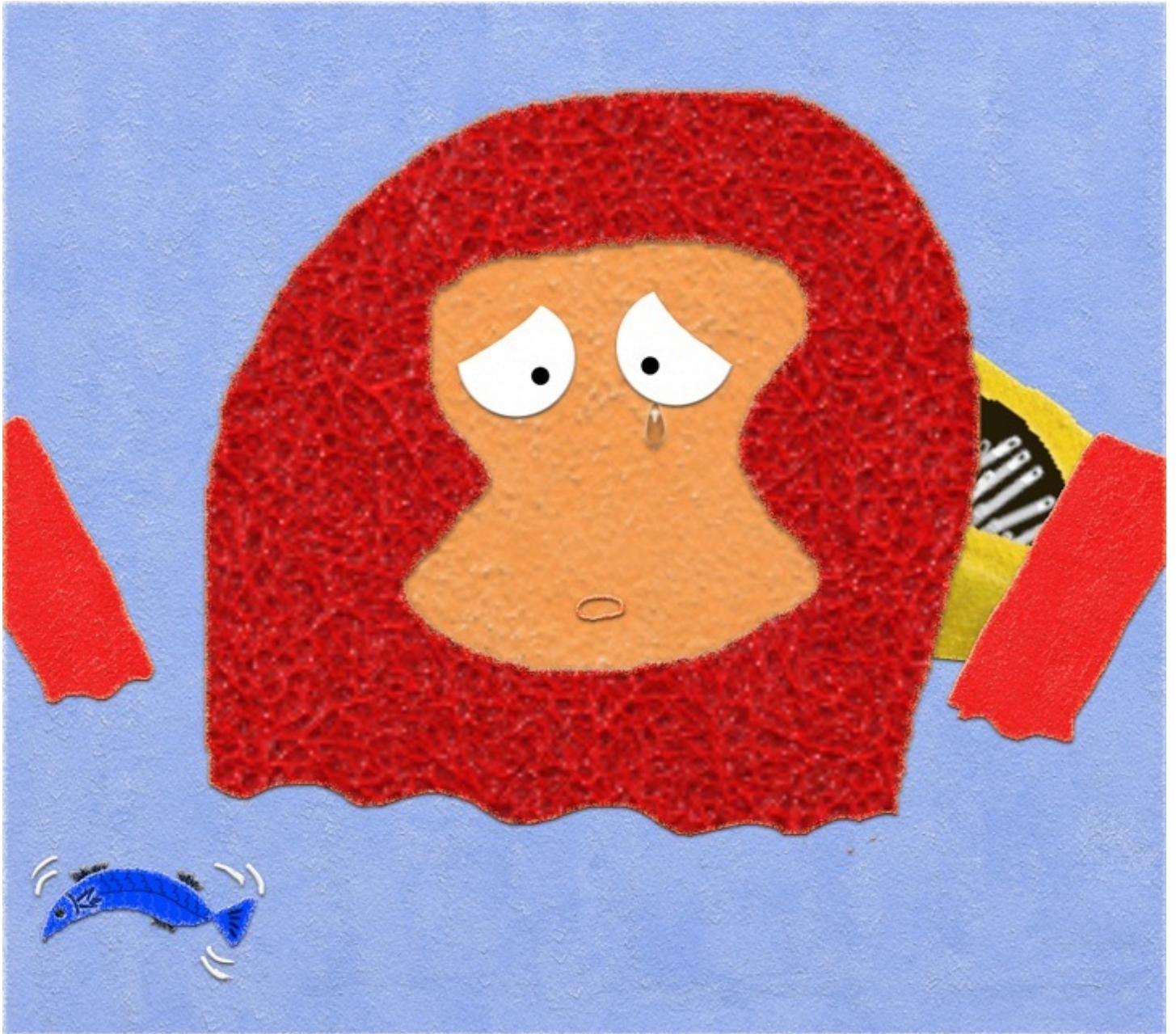
猿の婿は川へ落ちました。



The Monkey was still putting the pot with the needles on his back.

And, the waters carried him away.

そうして縫い針を入れた甕を背負ったままで、水に流されて行きました。



At that time, the Monkey cried and sang a song.

The words still remain as follows:

- Stream-Monkey! Stream-Monkey!
- The mother of Wisteria shall cry. A dear!

(Bicchu Province)

その時に猿の婿が泣きながら、こんな歌を詠んだと云う事で、今でも其の文句が残っています。

- 猿沢や、猿沢や、
- お藤の母が泣くぞかわいや。

(備中)

後書き

改訂2版について：

英訳文を修正しました。

日本語文を分割して各ページに振り分けました。

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 日本の昔話：2006年10月25日36刷 柳田国男著 新潮文庫
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：1975年9月15日第1刷発行 株式会社三省堂
- ジーニアス英和辞典 第5版：2014年12月25日第1刷発行 株式会社大修館書店
- 総合英語Forest(7th Edition)：2014年2月20日第7版第4刷発行 石黒昭博監修 株式会社桐原書店
- Longman Dictionary of Contemporary English: Sixth edition 2014 Pearson Education Limited
- Longman Thesaurus of American English: First published 2013 Pearson Education Limited
- Longman Study Dictionary of American English: Second edition 2011 Pearson Education Limited

C G 画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）
- Pixiv （イラスト投稿サイト）

- カクヨム （小説投稿サイト）
- BOOTH （物販サイト）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2014年2月17日発行

2014年3月4日改訂

2018年6月28日改訂2版

英訳昔話「猿聳入り」

<http://p.booklog.jp/book/82730>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/82730>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/82730>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ